



くしやみ講釋こうしゃく

笑福亭 松 鶴
桂 米之助 繪

ヘイ一席伺ひますは御馴染のお噂で御座ります。

「オイ宅うちに居るか」

「誰や、マア此方へ這入り」

「清やん御機嫌さん」

「誰やと思ふたら喜いやんやないか、永い事顔を見せなんだが何處ぞへ行てたんか」

「フン一寸カイサの方へ行てたんや」

「何處の會社へ行てたんや」

「會社やないカイサや」

「カイサてなんや」

「堺をひつくり返してカイサや」

「コレ其様なものをひつくり返さないや、コシイ、何しに行てたんや」

「ゴトに」

「ゴトてなんや」

「仕事を儉約しやうやくしてゴトや」

「其様な妙な物の云ひ方をしいなや、何時歸つて來たんや」

「一昨日歸つて來たんや」

「ア、然うかマア上り、何ぞ變つた話でも在るか」

「別に變つた話と云ふて無いが暫時歸つてこんまに町内がコロツと變つたな」

「フム然うやろ、改造とか軒切りとか云ふて道路が廣うなつて家並が宜うなつたやろう」

「フム彼の喧ましろ云ふてた横町の化物屋敷な」

「フム噂の有つた化物屋敷」

「昨夜十時過ぎに化物屋敷の前を通つたら仰山化物が出たで」

「ナニカ化物が出たか」